



数日後、防衛庁は記者会見をし、今後二度と金沢上空を飛行コースにしないと発表した。

防衛庁 ごめんください。防衛庁のものですが、この度は、大変ご迷惑をおかけし、まことに申しわけなく思っております。できるだけのこととをさせていただきます。どうぞごかんべんください。

父は肩ふるわせて聞いていた。

(間をおいて)

父 死んだものは二度と戻ってきません。もう帰ってください。

有田豊一防衛庁長官が来県しての記者会見

一、今回の事故で、多数の死傷者を出し、財産にも大きな損失を与えたことについて、心からおわびする。この補償と、原因追求及び、今後の対策は、防衛庁内に設置した事故対策委員会を通じて検討実施していく。

一、補償は、金沢市を通じて相談していくが、亡くなられた人、けがをされた人、失われた財産について、遺族や被害者の気持ちに十分こたえられるよう誠心誠意をもって臨み、悔いを残さない解決を図る。

一、自衛隊の飛行コースについては、これまで、訓練、緊急発進を問わず、市街地の上を通らないよう策定、これを守ってきたつもりであるが、今回の事故を機に再検討する。

一、今回の事故が起こったからといって、航空自衛隊の基地を撤去することはできない。それよりも、事故防止に最大の努力を傾けていく。